



令和8年7月6日発行
(第84号)
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327-3

自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる(語り場 学び場 麻生中)

～総 体～

令和8年度県民総合体育大会中学校大会(県東地区大会)が行われております。
7月1日(木)は軟式野球部、ソフトテニス部個人戦Iペア(県決定戦)、バレー部、サッカー部、男子バスケット部の競技が行われました。

軟式野球部は、神栖第三中学校との緊張感あふれる試合展開の中、見事1回戦を勝ち上がることができました。2回戦でも、合同チーム(麻生中 北浦中 玉造中)という、それぞれのよさを生かし戦ってきてほしいです。

ソフトテニス部個人戦、県決定戦ではあと、ほんのわずかな差で勝利を逃しました。しかし、2年生ペアらしく、さわやかに、思い切ってプレーすることができました。

サッカー部は神栖第二中学校を相手にしながらも、最後まで前を向き、堂々とプレーし、見事1点をもぎとることができました。相手にボールを奪われても、奪い返しにいく、強い気持ちがグラウンドいっぱいに、あるふれる試合でした。

バレー部は、波崎第三中学校との大接戦の末、勝利を逃しました。しかし、その戦いぶりは、たいへん立派でした。チームとしての雰囲気、苦しい試合展開でも励まし合う姿勢、粘り強く、最後までボールをつないでいくプレーは見ている人を勇気づける、感動的な試合でした。

男子バスケットボール部は神栖第一中学校を相手に、自分たちのもてる力を精一杯出し切ることができました。男子バスケットボール部生徒のよさは、前向きでアグレッシブなプレイスタイルです。素直で真っ直ぐな姿勢は、たいへん好感がもてました。

女子バスケットボール部は北浦中学校を相手に、見事勝利を収めました。7月2日に実施された2回戦は、鹿島中を相手に惜敗しました。キャプテンは「よかったことは、最後まであきらめず、チームとしてがんばれたこと、課題は、技術力の向上、苦しい場面での試合展開です」と話しました。

7月3日(木)は、野球、男女ハンドボール競技の部が開催されました。

野球部は鉾田合同チームに惜敗しましたが、一歩もひけをとらない試合展開でした。合同チームとして、まとまり最後まで粘り強くプレーした選手たちでした。

男子ハンドボール部はチームメンバー一人一人のよさや強みを生かし、役割を明確にしたプレーをすることができ、見事優勝することができました。県大会へ向け更なる飛躍に期待します。

女子ハンドボール部はチームの雰囲気や組織的なプレーを意識し、躍動的なプレーをすることができ、見事優勝することができました。高みを目指し、いい準備をし、県大会での活躍を期待します。

7月4日(土)卓球男女団体戦が実施されました。

男子卓球部は、1試合目は見事勝利を収めました。2・3試合目は惜敗しました。男子卓球部は丁寧に攻めと守りを行いました。サーブ、レシーブ、ドライブ一つ一つの技に思いがこもったプレーでした。

戦っている仲間へのアドバイスやサポートが素晴らしかったです。

女子卓球部は、1試合目、2試合目を見事勝利し、決勝リーグでは、1勝2敗の成績による見事第3位(県大会出場)となりました。一人一人がチームの勝利に向けて、気持ちを前面に出し、思い切ってプレーしている姿が印象的でした。県大会での活躍を期待します。

7月6日(月)卓球男女個人戦戦が実施されました。男女ともに、最後まで粘り強く戦い抜くことができました。接戦で惜しくも負けてしまった生徒は「課題もたくさんありましたが、よいプレーもあり、自分なりに頑張ったと思います。」と試合をふり返りました。個人戦では4回戦へ進出し、勝利を収めた、女子卓球部生徒2名が県大会へ出場となりました。

